



# PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

<b>事業概要</b>						担当局	消防局
						担当課	警防課
						課長名	柚木
<b>事業名</b>	自主防災活動の推進					施策番号	
						II - 1 - (4) - ③	
<b>事業概要</b>	地域防災力の向上を目的に自主防災組織「市民防災会」の育成指導を行います。					事業手法	
						<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
<b>コスト</b>	事業費	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20 人	(人件費備考)
		6,596 千円	千円		5,800 千円	係長 0.20 人 職員 0.20 人	

【Action】改善			
<b>課題</b>	H25年度の評価結果を受けての課題 市民防災会の結成率及び訓練等の活動並びに参加人数等、定着しているものの、年齢構成にばらつきがないことや参加者が常に同一人物になるなどの課題があります。	<b>見直し内容</b>	毎年、必要経費の見直しを図っており、経済的・効率的に事業を推進しています。また、幅広く広報活動を実施し、市民防災会への活動参加を呼びかけています。

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
<b>目的</b>	対象(誰を、何を) 市民防災会	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 各区で実施している防災訓練、防災講演会等の市民防災推進行事への参加及び地域防災リーダーを育成・指導することにより、自主防災の意識付け、地域防災力の向上を図ります。 現在、市内全域の校区・地区(193校区・地区)に設置されており、維持・継続します。	<b>成果の状況</b>	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	<b>27年度目標</b>	<b>27年度実績(達成率)</b>	<b>成果の状況評価理由</b>
	地域防災力の向上	地域防災力の向上	地域防災力の向上		
	自治会全てに結成されている市民防災会を維持・継続し、地域防災力の向上を図ります。 (最終目標と目標年度) 地域防災力の向上 毎年度				

<b>活動計画</b>	どうやって目的を達成するか 防災訓練、防災講演会などの市民防災推進行事への参加 すべての市民防災会(193校区・地区)が、防災訓練、防災講演会などの市民防災推進行事に1回以上参加することにより、自主防災の意識づけ、地域防災力の向上を図っています。	<b>活動の状況</b>	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	<b>27年度目標</b>	<b>27年度実績(達成率)</b>	<b>活動の状況評価理由</b>
	各市民防災会の市民防災推進行事への年間参加回数	193 校区・回	193 校区・回		
	全ての市民防災会(193校区・地区)が年間1回以上の参加を目標としています。				

【Check】評価(分析)	
<b>分析及び課題の整理</b>	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

# PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

<b>事業概要</b>		担当局	消防局
		担当課	予防課
<b>事業名</b> 住宅防火対策の推進		課長名	尾花
		施策番号 II - 1 - (4) - ③	
<b>事業概要</b> 福祉関係者・地域住民等からのあらゆる情報を活用し、高齢者・障がい者等の訪問活動を行い、防火・防災啓発の普及を図るとともに、火災及び焼死事故等の防止に努めます。		<b>事業手法</b>	
		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
<b>コスト</b>	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)
	1,716 千円	千円	千円
		目安の金額	課長 0.80 人 係長 0.80 人 職員 1.00 人
		24,700 千円	(人件費備考)

【Action】改善			
<b>課題</b>	H25年度の評価結果を受けての課題 住宅用火災警報器の普及率は、全国水準を上回る結果となったが、未だ約20%が未設置であるため、今後も継続して設置促進の活動を進めていきます。 住宅防火訪問を実施する消防隊の他の業務との兼ね合いを考え、目標件数を達成することが課題です。	<b>見直し内容</b>	住宅防火訪問を実施する消防隊が、防火訪問と合わせ住宅用火災警報器設置状況調査を実施します。さらには、火災予防及び住宅用火災警報器設置の重要性を消防隊に再確認させ、市民等への火災予防広報を強化させます。

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
<b>目的</b>	対象(誰を、何を) 高齢者・障害者等	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 住宅火災での高齢者・障害者等の死亡率が高いことから、消防隊が高齢者宅等を訪問する防火指導や住宅用火災警報器の設置促進を図り、火災及び焼死事故等の低減と出火危険の排除を目指します。	<b>成果の状況</b>	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	<b>27年度目標</b>	<b>27年度実績 (達成率)</b>	<b>成果の状況 評価理由</b>
	住宅用火災警報器の普及率	87.5 %	全国水準を上回る水準		
	普及率の目標設定については、秋の火災予防運動期間中の市民に対するアンケート調査及び消防隊が実施する住宅防火訪問の調査結果を踏まえ算出しています。 (最終目標と目標年度) 全国水準を上回る水準 毎年度				

<b>活動計画</b>	どうやって目的を達成するか 消防隊が高齢者・障がい者等の住宅を訪問し、防火指導を行うと共に、火災及び焼死事故等の防止を図ります。 住宅用火災警報器設置の必要性について、各種媒体やイベント等あらゆる機会を通して広報を行い、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置を図ります。	<b>活動の状況</b>	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	<b>27年度目標</b>	<b>27年度実績 (達成率)</b>	<b>活動の状況 評価理由</b>
	住宅防火訪問件数	3,975 件	3,000 件		
	住宅防火訪問件数の目標設定については、一消防隊あたり概ね30件で、105隊の消防隊が訪問した件数で算出します。				

【Check】評価(分析)	
<b>分析及び課題の整理</b>	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点  「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

# P D C A チェックシート (平成 27 年度実績評価)

<b>事業概要</b>						担当局	消防局
						担当課	警防課
						課長名	中村
事業名	消防団充実強化					施策番号	
						II - 1 - (4) - ③	
事業概要	老朽化した消防団施設を計画的に整備するとともに、消防団の装備の基準改正に基づく資機材等を整備するなど消防団の充実強化を図る					事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
							( )
コスト	事業費	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.03 人
		108,763 千円	千円			5,470 千円	係長 0.10 人 職員 0.55 人
						(人件費備考)	

【Action】改善			
課題	H25年度の評価結果を受けての課題	平成25年度は消防団分団本部2施設、分団支部1施設の竣工を目標としていましたが、分団支部1施設は、関係機関との調整に時間を要したため、平成26年度への繰越となりました。 着工から竣工まで、関係局及び建築業者との連絡を密にし、事業を円滑に進めるように取り組む必要があります。	見直し内容 平成27年度は消防団分団本部2施設の竣工を目標として事業に取り組みます。より綿密に打ち合わせを行うなど、各関係機関との調整をスムーズに行い、事業が滞らないように事務を進めます。さらに、消防団装備の充実を図り、消防団の充実強化を進めます。

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 消防団充実強化による地域防災力の向上	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 消防団活動の拠点となる消防団施設は、災害防御拠点及び地域防災コミュニティセンターとしての機能を有していないものが多数存在することから、積極的に整備を行い、活動拠点となる消防団施設の充実強化を目指します。また消防団装備を充実させることにより、若者が魅力を感じる消防団づくりを行い、団員数の維持・向上を目指します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標	27年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	消防団充実強化による地域防災力の向上	—	地域防災力の向上		
	地域防災の要である消防団施設及び装備等の整備により、防災力の強化を目指します。				
	(最終目標と目標年度) 地域防災力の向上 毎年度				

活動計画		活動の状況	
どうやって目的を達成するか	消防団と連絡及び調整を随時行い、事業を推進します。	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	上段:25年度実績 下段:26年度実績	27年度目標
	消防団施設整備	2 施設	2 施設
	事業の目的を達成するため、各関係機関との連絡調整を円滑に行い、年度内での完了を目指します。		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点  <b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

# PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

<b>事業概要</b>						担当局	消防局
						担当課	人事課
<b>事業名</b> 消防署所の適正配置						課長名	岸本
						施策番号	
<b>事業概要</b> 人口動態及び都市構造の変化、災害の大規模化など、消防を取り巻く環境の変化に対応した消防力(消防署所の開設や消防隊の配置)を整備します。また、市民サービスの公平性の観点から、消防署所の適正配置や効率・効果的な部隊運用を推進します。						<b>事業手法</b>	
						<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
<b>コスト</b>	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.05 人	(人件費備考)	
	1,008,488 千円	千円		10,075 千円	係長 0.50 人 職員 0.60 人		

【Action】改善			
<b>課題</b>	H25年度の評価結果を受けての課題 消防署所の適正配置	<b>見直し内容</b>	北九州市の「安全・安心なまちづくり」を目指すため、引き続き、早期に事業着手が可能なものから順次整備等を進めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
<b>目的</b>	対象(誰を、何を) 消防署所	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 消防を取り巻く環境の変化に対応した消防力を整備し、効率・効果的な部隊運用等を推進することで、「安全・安心なまちづくり」を目指します。		<b>成果の状況</b>	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	<b>27年度目標</b>	<b>27年度実績(達成率)</b>	<b>成果の状況評価理由</b>
	八幡東区の消防機能の強化	-	単年度目標設定なし		
	八幡東消防署の完成、稼働により、八幡東区の消防機能を強化します。 (最終目標と目標年度) 開署 平成28年度				
	門司区の消防機能の強化	-	単年度目標設定なし		
門司消防署の建替えにより、門司区の消防機能を強化します。 (最終目標と目標年度) 開署 平成31年度					

<b>活動計画</b>	どうやって目的を達成するか 【八幡東消防署】 建築工事 【門 司消防署】 基本設計・地質調査 【八幡西消防署】 解体設計(旧生涯学習C) 【若松区西 部】 解体設計(旧生涯学習C) 用地取得	H26 建築工事 H27 建築工事、竣工 解体設計・仮設設計 解体(旧生涯学習C) 用地取得	<b>活動の状況</b>	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	<b>27年度目標</b>	<b>27年度実績(達成率)</b>	<b>活動の状況評価理由</b>
	八幡東消防署整備に係る事業進捗	実施設計	建築工事、竣工		
	八幡東消防署の整備完了に向け、事業の進捗状況を指標とします。				
	門司消防署整備に係る事業進捗	候補地の選定、予算要求	解体設計、仮設設計		
門司消防署の整備完了に向け、事業の進捗状況を指標とします。					

【Check】評価(分析)	
<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点  <b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

# PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

<b>事業概要</b>						担当局	消防局
						担当課	予防課
<b>事業名</b> 緊急通報システム						課長名	尾花
						施策番号	
<b>事業概要</b> 高齢者や重度身体障害者がいる世帯の火災やガス漏れ、救急要請などの緊急通報を消防指令センターで直接受信し対応することにより、火災・救急による被害の低減を図るとともに、高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援します。						<b>事業手法</b>	
						<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
<b>コスト</b>	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20 人		
	51,944 千円	千円		9,050 千円	係長 0.30 人 職員 0.50 人		

## 【Action】改善

<b>課題</b>	H25年度の評価結果を受けての課題	本当に対応が必要な緊急の通報を早期に受信できる体制を維持するための効果的な広報等を消防局、保健福祉局及び各区役所等が連携して行い、質の高い行政サービスを維持していくことが課題です。	<b>見直し内容</b>	現在の事業をより利用しやすく、かつ、消防隊・救急隊の緊急対応体制を向上させる事業へ見直し、高齢者等がより安全で安心して在宅生活ができるよう支援策を強化します。
-----------	-------------------	--	--------------	---

## 【Plan】計画

## 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	高齢者等	住み慣れた地域で安全で安心して生活できる状態。			
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	27年度目標	27年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	高齢者等の安全・安心な生活の実現 緊急通報システムの設置世帯数は、今後さらに増加していくと予想されます。設置世帯数の増加に対して、質の高い行政サービスを実現することで実施を図ります。 (最終目標と目標年度) 高齢者等の安全・安心な生活の実現 毎年度	-	高齢者等の安全・安心な生活の実現		
	緊急通報システムの稼働数・受信数・出勤数 数値は、年度統計(各年の3月31日時点)。 (最終目標と目標年度) -	稼働数: 3,977件 通報数: 3,048件 出勤数: 1,123件	目標設定なし		

<b>活動計画</b>	どうやって目的を達成するか 保健福祉局高齢者支援課及び各区役所保健福祉課と連携し、緊急通報システムの制度概要や使い方をわかりやすく説明したリーフレット等を作成・活用し、設置世帯や市民へ周知します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	27年度目標	27年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	緊急通報システムの行政サービス維持・向上を図るためのリーフレット作成 保健福祉局高齢者支援課、消防局、各消防署、各区役所保健福祉課で、積極的にリーフレットの配布や説明等を実施し、行政サービスの維持・向上を図ります。	リーフレット作成・配布・説明	リーフレット作成・配布・説明		

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

# PDCAチェックシート(平成 27 年度実績評価)

事業概要							担当局	消防局
							担当課	警防課
事業名							課長名	中村
							施策番号	
事業概要							II - 2 - (1) - ③	
							■ 直営 □ 補助金 □ 全部委託 □ 負担金 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他 ( )	
コスト	事業費	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長	0.01 人	
		8,428 千円	千円		990 千円	係長	0.05 人	
							職員	0.05 人

【Action】改善			
課題	H25年度の評価結果を受けての課題	実員数で訪問可能な世帯数を達成できた。しかし、消防団員は他に本職を持っているため、目標数を達成できないこともあります。そのため、女性消防団員を確保することで、目標数を達成しやすい状態を維持していくことが課題です。	見直し内容 現在の体制を維持し、目標数を達成できるようにします。

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 高齢者	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 女性消防団員が2人1組となって、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や、家庭内救急事故の予防指導等を実施することで、火災や重大な事故の発生を未然に防ぐことを目的としています。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) 火災や重大事故発生の未然防止	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績 -	27年度目標	27年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	一人暮らしの高齢者宅を訪問し、防火防災に関する指導や、家庭内救急事故の予防指導等を実施することで、火災や重大事故発生の未然防止に努めます。		火災や重大事故発生の未然防止		
	(最終目標と目標年度) 火災や重大事故発生の未然防止 毎年度				

活動計画	どうやって目的を達成するか 女性消防団員により、年間2,464世帯の訪問を行います		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明) 女性消防団員による防火訪問	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績 実施	27年度目標	27年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	介護職員初任者研修(旧ホームヘルパー2級)の資格を持った女性消防団員が福祉要素を取り入れた防火訪問を行います。		実施		
	年間訪問世帯数	2440 世帯	2,464 世帯		
	現在定められている女性消防団員の定数(154名)で訪問可能な最大数(2,464世帯)を目標として実施しています。				

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点  「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

# P D C A チェックシート (平成 27 年度実績評価)

<b>事業概要</b>						担当局	消防局
						担当課	人事課
<b>事業名</b> 消防音楽隊による文化活動						課長名	岸本
						施策番号	
<b>事業概要</b> 市主催の式典や消防の各種行事等に出演し、市民参加向上の役割を担うとともに、音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、市のPR活動や防火・防災啓発活動を実施します。併せて、児童の健全な育成等に寄与することを目的に、教育機関と連携し、積極的に児童教育に貢献します。						<b>事業手法</b>	
						<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
<b>コスト</b>	事業費	27年度当初予算額	27年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.01 人 係長 0.15 人 職員 0.40 人
		7,574 千円	千円			4,800 千円	

【Action】改善			
<b>課題</b>	H25年度の評価結果を受けての課題	消防音楽隊の出演回数については、目標としている年間150回程度となる予定であり、順調に事業を推進できています。訓練日数の確保と出演とのバランスを取りながら、より効果的な演出を実施していく必要があります。	<b>見直し内容</b>
			音楽隊常用演奏服の更新延伸や消耗品等を削減することにより、事業費は縮小しますが、そのような中でもより高い成果が得られるよう、演出を工夫していきます。ホームページアクセス件数は、平成24年度に東日本大震災が発生し、市民の防火・防災意識の高まり等を受けて目標値の引き上げを行いました。その後例年通りのアクセス件数に落ち着いてきたことから、目標値を30,000件に見直しました。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
<b>目的</b>	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		<b>成果の状況</b>	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	市主催の式典や消防の各種行事に出演し、音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、市のPR活動や防火・防災普及啓発活動を実施します。併せて、幼少年の健全な育成等に寄与することを目的に、教育機関と連携し、積極的に児童教育(消防“夢”コンサートの開催)に貢献します。			
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	<b>27年度目標</b>	<b>27年度実績(達成率)</b>	<b>成果の状況評価理由</b>
	防火・防災普及啓発	—	防火・防災の普及啓発		
	音楽隊の演奏やカラーガード隊の演技を通じて、防火・防災の普及啓発を推進します。 (最終目標と目標年度) 防火・防災の普及啓発 毎年度				
	消防音楽隊出演回数 訓練日数の確保等から年間150回程度程度の出演が適当であると考えます。演出等を工夫することにより依頼数の確保に努めます。 (最終目標と目標年度) 150回程度 毎年度	147 回	150 回		

<b>活動計画</b>	どうやって目的を達成するか	音楽隊やカラーガード隊が出演する際、その時期や社会情勢等を考慮した「効果のある消防広報」を行っていきます。また、教育機関の協力を得て実施する、消防“夢”コンサートについては、子ども達に「防火・防災意識の高揚」、「音楽の素晴らしさや、多くの仲間と音楽を創造するチームワークの重要性」を伝えるため、今後も演出を工夫するなどの努力を行っていきます。		<b>活動の状況</b>	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	上段: 25年度実績 下段: 26年度実績	<b>27年度目標</b>	<b>27年度実績(達成率)</b>	<b>活動の状況評価理由</b>
	警察音楽隊との合同演奏	2 回	2 回		
	安全・安心を担う二つの組織が連携し、音楽を通じて「安全・安心」を市民にPRします。両音楽隊とも出演多忙であること、他の行事とのバランス等を考慮し、年2回の合同開催を目標としています。				
	ホームページアクセス件数 市民に活動内容等を知ってもらうことで、知名度が上がり、出演依頼の増加に繋がると考えられます。積極的に更新し、見てもらえるホームページ作成を心がけます。	29,009 件	30,000 件		

【Check】評価(分析)	
<b>分析及び課題の整理</b>	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>